

# 教育委員会事務局

## < 要求の基本的な考え方 >

第2次新まちづくり計画の最終年次として、目標の達成に向けた着実な事業推進のための予算を配分。

「雪」「環境」「読書」をテーマに、自立した札幌人の育成を目指した事業に、重点的な予算配分を行った。

一般会計要求総額

35,645,699千円

(対前年度 +3.2%)

(単位:千円)

	一主要事業一	要求額	
未来を担う子どもが健やかに育つ環境の充実	市立札幌大通高等学校整備事業	335,563	〔生涯学習部〕
	奨学金支給	102,256	〔学校教育部〕
	私立幼稚園特別支援教育事業費	9,012	〔学校教育部〕
	特別支援教育支援員活用事業	166,900	〔学校教育部〕
	外国語指導助手関係	285,180	〔学校教育部〕
日常の身近な暮らしの安心確保	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	15,981	〔生涯学習部〕
災害に強い安全なまちの整備	学校施設改築事業	3,499,395	〔生涯学習部〕
	学校施設耐震補強事業	313,332	〔生涯学習部〕
その他	学校施設太陽光パネル設置事業	281,985	〔生涯学習部〕
	子ども読書チャレンジプロジェクト	176,422	〔教育委員会〕
	学校統合関係改修等事業	516,714	〔生涯学習部〕
	若者支援施設運営管理事業	190,226	〔生涯学習部〕
	中央若者活動センター解体工事	3,631	〔生涯学習部〕
	豊平若者活動センター耐震改修工事	18,419	〔生涯学習部〕
	札幌らしい特色ある学校教育	25,000	〔学校教育部〕
	部活動外部顧問派遣事業	7,200	〔学校教育部〕
	学校非公式サイト等対策事業	1,600	〔学校教育部〕
	AED消耗品更新事業	11,000	〔学校教育部〕
	第2次図書館ビジョン策定事業	4,000	〔中央図書館〕

: 新規事業      : レベルアップ事業

## ● 私立幼稚園の支援体制を充実

### 私立幼稚園特別支援教育事業

市立幼稚園の10園化(17園から7園閉園)及び3年保育実施による定員減の影響により、多くの幼児が私立幼稚園へ就園することが予想されます。特に特別な教育的支援を必要とする幼児に関しての支援体制の構築が急務であるため、私立幼稚園における特別支援教育を必要とする幼児に携わる職員に対して人件費を補助する制度を試行的に実施します。



事業費 9,012 (新規)

## ● 奨学金採用者数を拡充

### 奨学金支給

能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な大学生・高校生などに奨学金を支給します。22年度は、第2次札幌新まちづくり計画のほか、小竹基金及び経済対策による増員などにより、前年度より140人程度の採用者増を見込んでいます。



事業費 102,256 (21年度予算額 94,514)  
 達成目標 採用者数 H18:456人 H22:1,000人  
 22年度効果 +144人(H21:1,171人 H22:1,315)

## ● 学校太陽光パネルで環境に優しい発電

### 学校施設太陽光パネル設置事業

この事業は、子どもたちや地域住民への環境意識の普及啓発や新エネルギーの活用に伴うCO2排出削減を目的とし、全ての学校で太陽光パネルを設置することを目標に計画的に整備を推進していきます。なお、22年度は8校において太陽光パネルの設置を行います。



事業費 281,985 (新規)  
22年度効果 +8校(桑園小改築、大通高校含む)

## ● 若者の社会的自立を支援

### 札幌市若者支援施設運営管理事業

引きこもり、ニートなど、社会生活を円滑に営む上で困難を抱える若者の自立を支援するため、若者支援総合センターを設置します。また、若者のまちづくり活動や交流を支援するため、若者活動センター5館を設置し、平成21年4月に策定した札幌市若者支援基本構想に基づく取組を進めます。



事業費 190,226(新規)

## ● 札幌のまちに根ざした豊かな感性を育てる

### 札幌らしい特色ある学校教育

札幌の子どもたちに、札幌のまちに根ざした豊かな感性や人間性を身につけさせ、自ら学び、自ら考える「生きる力」を培うとともに、主体的に社会にかかわる「自立した札幌人」の育成を目指すために、「雪」「環境」「読書(子ども読書チャレンジプロジェクト)」の3つの基本テーマに、新たな事業を展開します。



#### 主な事業

#### 雪に関する学習関連事業

スキー学習モデル校事業  
雪に関する学習モデル校事業



#### 環境教育関連事業

札幌エコスクール宣言事業  
さっぽろっこ農業体験事業



事業費 25,000 (新規)

## ● 子どものための魅力ある読書環境づくり

### 子ども読書チャレンジプロジェクト

読書は、豊かな感性と考える力を生み、人生をより深く生きていくのに欠かせないものであり、基礎教育や学力向上などの教育的効果があります。子どもの読書の習慣化と意欲の向上を図るため、本との出会いや感性を磨き、想像力を豊かなものとし、自ら考え、行動するための読書環境を整備するとともに、感動の共有や表現することの楽しさを演出し、主体的に社会の形成に参画していくために必要な知識や教養を身につける事業の展開を図ります。



#### 主な事業

#### 図書資源ネットワーク

学校から子どもたちが手軽に公共図書館の本を利用できるようにするほか、寄贈図書の利活用のネットワークづくりを行います。

#### 幼児絵本ネットワークセンター開設

大型絵本や布絵本などを集中保管し、幼稚園などに貸し出すシステムを構築します。



#### さっぽろ家庭読書フェスティバル

さっぽろ家庭読書の日から1カ月間、全市で読書に関するイベントを開催します(講演会、コンサート、本のリサイクル市など)。

#### 学校図書館サポートシステム

市民ボランティアを育成し、学校図書館に図書ボランティア及びアドバイザーを派遣します。

#### 子ども読書活動推進事業

図書館デビュー  
図書館利用のマナーの紹介  
さっぽろっこ絵本づくり  
小学生の手作り絵本制作講座  
さっぽろっこ出版体験  
中学生の本の出版体験講座 など

事業費 176,422 (新規)

## ● 新たな図書館ビジョンを策定

### 第2次図書館ビジョン策定事業

市民の生涯学習を支え、知識と情報を発信する図書館を目指して平成14年1月に策定された第1次図書館ビジョンを改定します。市民の期待に応える新たな図書館サービスのあり方などを検討し、市民の意識調査やパブリックコメントなどを実施し、策定します。



事業費 4,000 (新規)

## < 主な見直し項目(効果額) >

### 事業成果の検証による見直し

- 小中学校理科少額教材整備の見直し 10,000
- 国庫補助事業への振り替えによる当初計画の廃止
- 青少年センター等運営管理費委託の見直し 220,863
- 勤労青少年ホーム、青少年センターの廃止

### 社会構造の変化に合わせた見直し

- 学校給食調理委託業務の見直し 38,675
- 委託業務契約方法の見直し等
- 青少年山の家運営管理費の見直し 24,436
- 指定管理者公募等による見直し
- その他の見直し
- 一般事務費等の削減 112,288